
けいおん！ Prince of violin

suketto2031

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

けいおん！ Prince of violin

【Nコード】

N2640N

【作者名】

suketto2031

【あらすじ】

けいおん！の二次作品です・・・無理だと思う方は戻ってください。

けいおんの小説を見たところ山中さわ子先生に弟が居たという設定がない気がしたので、居たとしたらどうなるんだろうという興味範囲の小説ですが良ければ読んでみてください。

ブローグ

春の気持ちいい朝

澄んだ青空の下

まだ薄暗く自分の辺りに人の姿はない。

現在自転車に乗って自宅へ向かっているが、ここは学校に続く大通り。本来だったら生徒で賑わっているはずだ。

別に今日が休日というわけでもない。

つまり生徒が登校すべき時間ではない、ということ。

けど、そんな閑散とした光景を見慣れている自分は焦ることなく、悠長に自転車を漕ぎ続けた。

現在の時刻、AM 5:20

自分の家に着き、自転車を車庫にしまうとなるべく音を立てないように家に入った。

玄関に入り靴を脱ぎながらリビングのドアを確認するとドアの隙間から明かりが漏れているのに気がついた。

足音を立てずにリビングに入ると明かりをつけたであろう人物に挨拶をした。

「おはよう、お母さん」

「あら、おはよう悠。今帰ってきたの？」

振り返ってこちらを見た母親に返事することなく頷くと隣に移動し、朝食を手伝うことにした。

今母親は小さな音でテレビを流しながら味噌汁を準備していた。ご飯は昨日寝る前に炊飯器で炊ける時刻を決めている為特に弄ることはなく待つだけでいい。

今の時代、とても便利になったものだと時々感心する。

手伝いが終わるとテーブルを拭き、父の箸を置くとそのままイスに座りテレビを見ることにした。

しばらくすると朝食の準備を終えた母親がコーヒーを2人分用意すると1つを自分の前に置き、母は隣のイスに座り父が起きてくる時間までのんびり新聞を読む。

いつもの事なので確認することなく自分はコーヒーを飲みながらテレビを見ることに集中した。

時々くだらない会話をしながらゆっくりとした時間を過ごしていると2階から時計のアラームの音と、少しするとスリッパの音を立て

ながら父が降りてきた。

「おはよう、お父さん」 「おはよう」

「ああ、おはよう。…………悠、今日も行ってきたのか？」

「うん。アルバイトの新聞配達といっても仕事だから」

「そうだな」

父がイスに座ると母は立ち上がりすぐに朝食の準備をした。

用意するのは2人分で、自分と父の分だ。

母はドラマを見ながらご飯を食べるので大体7：30くらいになる。それに比べ自分は父と同じ時間に食べるので6：00になる。

自分には父と母の他にもう1人家族がいて、起きてくるのはいつもぎりぎりの7：00くらい…………。

本人は自覚が無いみたいだけど、目覚ましがなってるのに起きることとは無く逆に無意識に止めてしまうのだ。

それでギリギリになって目を覚ますので母に文句をいいながら走って仕事に行くのだ。

もう1人の家族とは8歳年上の姉で名前はさわ子と言う。

現在姉は桜が丘高校という所で教師をやっており、生徒や先生には概ね好かれているらしい。

で、元々女子高だった桜が丘高校は今年から共学にすることにしたらしく自分もその学校に通うことにした。

理由はただ1つで家から近いから…………ただそれだけ。

別に姉さんの仕事ぶりを見るためやいつしょに居たいがために受けたわけではない。

しかも今日から入学式なので少し緊張してるけど、とても楽しみではある。

そういう訳でいつもより興奮した気持ちを抑えながらも今日も姉さんが遅刻しないか心配しながら入学式の時間まで待った。

主人公設定

名前 山中 悠^{ゆう}

身長 154cm 体重 42kg

年齢 15歳

髪型 長すぎず短すぎず

一人称 自分 親しい人（家族など）の前では 僕

備考

華奢な体格と中性的な声、寡黙^{かもく}で落ち着いた性格が特徴。本人は身長と声にコンプレックスを抱いている。新聞配達は13歳の頃からやっており、稼いだお金は学費と食費（3万）で後はコツコツと貯めている。（本人によると100万はあるらしい……）

昔はバイオリンをやっていたが今は独学で趣味程度に練習している。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2640n/>

けいおん！ Prince of violin

2010年11月23日02時16分発行